

第2期岩美町地域創生総合戦略の検証について

1. 令和5年度の人口動向

○自然増減

→出生数は年次目標の62人を7人下回る55人で、前年比で9人減であり、死亡者数が前年度と比較し14人増加となったことで自然増が増加する結果となった。引き続き、「産み育てる年代」の大きな人口減少とならないよう取り組みを進める必要がある。

○社会増減

→転入者数においては前年度と比較し8人増となり、転出者数は平成元年度以降最小人数であり、前年度と比較して20人の減少となった。社会増減では減少数が28人緩和されることとなったが、岩美道路の整備に伴い近年転入者が増加している中、転出者数が増加しないよう、住みよい町だと感じてもらえる取り組みを引き続き行う必要がある。

(単位：人)

年度		R2年度	R3年度	R4年度 (h)	R5年度 (g)	増 減 (g)-(h)	参考 H26年度
人口増減	増 減(c)+(f)	△179	△130	△151	△146	5	△226
自然増減	出生者数(a)	66	77	64	55	△9	60
	死亡者数(b)	191	182	185	199	14	164
	増減(c)=(a)-(b)	△125	△105	△121	△144	△23	△104
社会増減	転入者数(d)	235	267	248	256	8	242
	転出者数(e)	289	292	278	258	△20	364
	増減(f)=(d)-(e)	△54	△25	△30	△2	28	△122

2. 「重要業績評価指標(KPI)」の達成度・・・別紙1

第2期地域創生総合戦略に掲げる21項目のKPIについて、半数以上の11項目で4年目の目標を達成することが出来なかった。

	達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
重要業績評価指標(KPI)	達 成	8項目	7項目	9項目	10項目
	未 達 成	13項目	14項目	12項目	11項目

3. 対応方針

新型コロナウイルス感染症の5類移行により人々の活動がコロナ禍以前に戻りつつある中で各種施策に取り組んだが、結果としては11項目で未達成となった。

次期総合戦略の策定にあたり、KPI数値については第2期戦略の達成状況を勘案して設定を行い、KPIの達成に向けて各事業の実施により引き続き努力する。